

# 第5回パラレル脳研究部門 勉強会・セミナー

## 脳波実験のツボとコツ — それと複数人からの同時計測実験結果も —

演者: 片山 順一 先生



関西学院大学 文学部総合心理科学科 教授  
応用心理科学研究センター (CAPS) センター長

日時: 2022年3月24日(木)16:00~17:30 7号館7407教室

※他キャンパス向けにZoomでライブ配信いたします。Zoom参加ご希望の方は世話人、またはお近くのpBIRD構成員にご連絡ください。

脳波を指標として認知機能を探る実験を行う場合はヒトを被験者として用いますが、モノを対象とした実験とは異なり留意すべき点が多くあります。また、脳波計が吐き出すデータがすべて脳波というわけではありませんし、脳波データの解釈にも留意点があります。前半は脳波実験を実施する際に気を付けるべきことやきれいな脳波データを取るためのツボとコツをお話しします。

続いて、複数の被験者から脳波を同時計測した実験をご紹介します。具体的には、行動結果のフィードバックに対して出現する事象関連脳電位 (ERP) の振る舞いについて紹介し、これが集団になるとどう変化するのか等についてお話しします。 **本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します**

主催: パラレル脳センシング技術研究部門

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し2016年度に発足した脳学際研究部門 (BIRD) をより発展させるために2021年度に設立された新しい部門。学内の工・先進工・理工・薬学部・生命研および学外の研究機関から構成される。

世話人: 理工学部機械工学科 竹村裕 takemura@rs.tus.ac.jp

本講演は公開セミナーです。聴講希望の方は世話人までメールでご連絡ください。必要な情報を折り返しお伝えします

